

観音山



平尾小学校だより
第4号
令和5年5月25日

ほんものにふれる会

5月19日（金）に「ほんものにふれる会」がありました。本校では、音楽・パフォーマンス・劇の順で、毎年1回、質の高いプロの技にふれる機会を設けています。今年は、「ピアノの魔術師」さんに来校していただき、低学年と高学年の2回に分けて、鑑賞しました。ピアノ、ドラム、キーボード、ギター演奏の4人で作る音楽の世界は、素晴らしいものでした。魔術師さんにお聞きしたところ、使用しているピアノは、ふだん子どもたちが授業で使っているものとほとんど変わらない6000円ほどのものとのことでした。子どもたちにとって身近なピアノを使って、演奏のコツも教えていただき、鑑賞の時間はあっという間に感じ、もっと聴きたいという声がたくさん聞かれました。この会の開催にあたっては、平尾校区の健全育成協議会から補助をいただいています。ありがとうございました。



(2年)

いろいろなくにおんがくが、たのしかったよ。わくわくしたよ。もっとみたかったよ。えんそうがすごかったよ。(1ねん)

本当にまじゅつしみたいでした。うらわぎを教えてくださいました。ぼくにはできないかもしれないと思ったけれど、とてもくわしく教えてくださいました。やってみれば、みんなできるんじゃないのかなと思いました。「音で楽しむのが音楽」と教えてもらったので、これからもそれをやってみたいと思います。(4年)

いろんな音がくがあって、すごかったよ。むずかしいきょくもひいてくれたよ。音がくをきいたら、音がくがすきになったよ。(2年)

「ピアノの魔術師」を見て、音楽はこんなに楽しいことなのかなと思いました。「トゥクトゥク」とダブルタンギングをするだけで速く演奏できるのはすごいと思いました。音でおしゃべりをするとき聞いた時、「本当に？」と思っていたけれど、本当におしゃべりをしていたので、すごいなと思いました。(5年)

一番すごいなと思ったのは、音楽でせんそうを止めることです。このお話を聞いたら、音楽がすきになった気がしました。一番すきな曲は、インドネシアの曲です。なんか元気になる曲だったからです。(3年)

いろんな演奏をきいて、魔術師さんの言っていた「やれるときにやりたいことをやる」というのが、これからは勇気をあたえてくれました。音楽って、落ちこんでいる時や悲しい時に好きな曲をきくと「次はもっとがんばろう」となるし、「なかよく」「勇気」をあたえてくれるんだなと思いました。(6年)

自転車交通安全教室

5月17日（水）に、豊川市人権交通防犯課の職員2名と交通指導員8名を講師に迎え、3年生の児童が自転車の乗り方や点検の仕方について学びました。はじめに自転車の乗り方指導を受け、その後、運動場に作られた模擬コースで実技練習を行いました。子ども達は安全に自転車に乗れるよう真剣に話を聞き、交差点では教えていただいたとおり、自転車からおりて「右、左、右、右後ろ」と声に出して確認していました。また、自転車点検の合言葉は、「ブタハトシャベル」です。ブ=ブレーキ、タ=タイヤ、ハ=ハンドル、ト=トウカ（灯火）、シャ（サ）=車体（サドル）、ベル=ベル。これらの点に気をつけて、自転車に乗る前に点検を行いましょう。



おうだんほうどうでは、自てん車にのってわたってはいけなくて、自てん車のマークがある時だけ、のってわたっていいということをおぼえました。交通しどういんさん、ありがとう。（3年）

安全教室にさんかしてよかったと思いました。知らないことをいっぱい教えてくれたからです。たとえば「右、左、右」だけだと思っていたのに、「右、左、右、右後ろ」だからびっくりしました。次から気をつけようと思いました。（3年）